



# ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 半田

## 友の会行事のお知らせ

### ●望年会のお知らせ●

毎年恒例の〈望年会〉が今年も下記のとおり開催されます。

今年最後のイベントです。会員の親睦や各PJ間の交流の場として奮ってご参加ください！！  
餅つきと具沢山の豚汁、焼き芋などを予定しています。

日時：2019年12月22日（日） 9：00集合（雨天決行）

会場：ごろすけ館前

対象：友の会会員とその家族

飲み物と軍手持参のうえ、多少汚れても良い服装でお越しください。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、  
自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を  
育てようということを目的としています。

### ●9月定例会報告●

日時 2019年9月15日(日) 10:00~11:30

出席者 青木、秋元、池澤、今村、大浦、大西、落合(議長)、片岡、小島、関根(書記)、次田、中里、西山、八田、星隈、村松、山口、渡部、掛下R

議題

1. 行事報告

7月下旬から9月上旬の行事報告、活動報告を行いました。行事は全て計画通りに行われました。

2. 行事予定

9月中旬から12月上旬までの行事予定の確認を行いました。

今年の望年会は12月22日(日)を予定しています。

3. 各プロジェクトの活動報告と活動予定の確認を行いました。

4. ごろすけ館の利用希望の調整を行いました。

5. 事務局より

・区民まつりに参加します。

①金沢まつりいきいきフェスタ

10月19日(土) 10:00~15:00 荒天翌日 海の公園「横浜つながりの森」コーナー

②栄区民まつり

11月2日(土) 本郷中学校校庭「栄区の森や自然の魅力PRゾーン」

※皆さんのお手伝いをお願いします。お手伝い可能な方は友の会のメールまで。

・10月20日(日)の秋の森まるごと体験の役割分担を決めました。

・ゴロ報を友の会の外向けPRにも活用したいとの意見もあり、内容見直しを検討します。

ゴロ報の内容やレイアウト等について各PJでの話し合いをお願いします。10月20日まで

6. センターより

「観察センターだより」のページをご覧ください。

次回定例会は、11月17日(日) 9:00~ 観察センター研修室

同日11:00から理事会も予定されています。

**定例会には、会員はどなたでも出席できます。**

## 友の会行事のお知らせ

### ●自然案内人講座●

#### 「いつでもどこでも身近な自然の案内人講座」

身近な自然の素材を使って、生きものたちのくらしやそのつながりを分かりやすく伝える自然案内「インタープリテーション」、そのスキルとプログラムのつくり方を体験的に学ぶ2日間の講座です。

日時：2019年11月2日(土)~3日(日) 9:30~16:00(両日共)

会場：横浜自然観察の森

参加費：1,000円(2日間で ※友の会会員は500円)

定員：先着30名

対象：どなたでも

申し込み：10/31(木)までにメールでお申し込みください。

持ち物：昼食・飲み物・筆記用具・あればルーペ・双眼鏡など

野外活動できる服装(長袖・長ズボン・帽子)

主催：横浜自然観察の森友の会

問い合わせ：[kansatsunomori@gmail.com](mailto:kansatsunomori@gmail.com)

担当：森の案内人ハンミョウの会

## 1本のミズキ

9月9日の未明に関東南部を通り過ぎた台風15号は、家屋や事業所や道路という生活の基盤を破壊し、ライフラインを寸断しました。被災した街と人々のくらしの早い復興を願うばかりです。

私たちの活動する横浜自然観察の森でも多大な被害が報告されています。ガイドウォーク「季節の森を歩こう」の活動をしている「森の案内人・ハンミョウの会」にとっては、特にモンキチョウの広場のミズキが倒れたことは、長年のガイドの相棒を無くしたような大きなショックです。

春には一斉に鮮やかな若葉が噴き出し、初夏には白い小さな花が雲のように広がり、秋には鳥が食べやすいような黒い実が赤い花柄の上に色づき、その花柄は「森サンゴ」とも呼ばれます。冬が深まるにつれて上に向かって伸びる赤い枝ぶりはまるでトナカイの角のようです。もちろん樹そのものだけではなく、愛くるしいハートカメムシ（エサキモンキツノカメムシ）をはじめとする虫たちが食や繁殖の場として集まる姿も観察素材になります。

もう一つこのミズキがとても使いやすかったのは、枝が手の届く高さで大きく広がっていたこと。例えば、春が近づく季節のガイドウォークで「神様、ごめんなさい」を言って、膨らんできた赤い冬芽を一つだけいただいて、芽鱗（がりん）という重ね着のコートを一枚ずつはがすと、その中に何枚もの葉っぱの赤ちゃんとブロッコリーのようなつぼみがちゃんと準備されているのを見ることができました。

そして芽吹き後の枝には、落ちた芽鱗の痕（芽鱗痕：がりんこん）がナイフで切れ込みを入れたように残ります。それが、去年はここまで、一昨年はここまで、という樹の成長をたどる証となり、特に子どもの参加者の年齢と比べて楽しむこともできました。

ただ一方で、ミズキはアカメガシワ、カンスザンショウ、ヌルデなどと同じく太陽の光が大好きな陽樹でパイオニア植物。森の遷移が進むと元気をなくして朽ちることになります。おそらくあのミズキも周りの樹が高く育ち、そろそろあの場所での役目を終えようとしていたのかもしれませんが、それに手が届くほど長く伸ばした枝は台風の強風に抗しきれなかったに違いありません。

また今回の台風では円海山緑地の各地でも、多くの崩落、倒木、砂の流出などが発生しました。これはこの地域の地盤的な特徴も意識した里地里山としての管理が行き届かず、結果的に意図せざる遷移に任せざるを得なかったことに起因するものでしょう。保全管理計画への反映とそれを実際に進める行政や市民の体制がなければ、同じ災害を、再び、更に大きな規模で繰り返すことになりそうです。

一本のミズキはこの森や生きもののことをいろいろ教えてくださいましたが、倒れてもなお、これからの私たちの森での活動について、大事な示唆を残してくれているようです。

Charlie（中塚）  
森の案内人・ハンミョウの会

## 定例行事の報告

### ●森を守るボランティア体験(8月) 活動報告●

開催日：8月18日(日)  
テーマ：自然観察から始まる森のボランティア  
担当：森の案内人ハンミョウの会  
一般参加者：15名、スタッフ：6名

定例行事「季節の森を歩こう」と同じ形式で森の生き物達の暮らしに触れながら、ゴロスケ館や炭焼き小屋・畑などで各プロジェクトの活動紹介をしました。体験後に1名が入会されました。

森の案内人ハンミョウの会 西山

## 友の会活動報告

### ●ミズキの池ハイド前の環境整備 活動報告●

ミズキの池ハイド前の環境整備を行いました。

1. 日時：9月1日(日) 9:00~10:30
2. 参加者：スタッフ6名、会員参加者0名

下草が繁茂し見通しが悪かったハイドからの景観が、参加者の努力で観察が容易になりました。猛暑も一段落した日で、気持ちの良い汗をかきながら奴賀レンジャーにもお手伝い頂き、作業を順調に進める事ができました。

皆さん、カワセミやトンボを見に、見通しの良くなったハイドを訪れてみて下さい。

カワセミファンクラブ 大浦

### ●森の作業体験 間伐・木工を楽しもう 活動報告●

1. 開催日 9月14日(土) 10:00~14:00
2. 参加者 3名  
スタッフ 7名

朝のラジオ体操を全員で行い、その後参加者の紹介。引き続き、伐木作業の基本の説明。必要な装備の着用、道具を準備。その後、伐倒場所であるトイレ前管理7区へ移動。伐倒対象木の特徴の説明、伐倒の方向決め、人員の配置/位置の設定、機材の設定。そして、受け口/追い口の具体的説明、さらに作業の詳細手順を説明。

これ以降は参加者が交代で実際に伐倒用大のこぎりを操作して切断作業を実施。参加者は切断後の枝払い、玉切りまで伐倒の全作業を実際に体験し作業を完結。伐倒の全作業を実際に自分で体験できたことから、参加者には満足頂けたようである。昼食後は火起こし、薪割り、コースター作りを体験した。午後もかなり楽しめたようであった。

雑木林ファンクラブ 池澤

## ●自然と遊ぼう 活動報告●

私たちが目指しているのは、子供（幼稚園児から小中学生くらいまで）とその保護者の皆様を主な対象として、季節に応じた素材で五感をくまなく使い、時にはゲーム手法なども加え、楽しみながらの自然観察を通じて自然大好き人間の仲間を広げようというものです。

毎月第4土曜日（12月は年末を控え第2土曜日）

午前10時頃から下見と準備にかかり、13:30出発、14:30解散が定例の活動です。スタッフメンバーは4名～5名です。

コースは観察センターから「モンキチョウの広場」「ヘイケボタルの湿地」とその周辺、時には「桜林」や「ピクニック広場」まで出掛け、主なテーマは「春をさがそう」「オタマジャクシと遊ぼう」「葉っぱのいろいろ」「森のてざわり」「セミの抜け殻探し」「バッタの飛びくらべ」「ひっつきむしをさがそう」「木の実草の実発見」「落葉プール」や「BINGO ゲーム」等々で、森を散歩しながら、いろいろな発見や体験の手助けを提供します。

12月、1月には「落ち葉プール」を楽しみます。

落ち葉を集めるのに「リヤカー」を操縦し、「熊手」「箕」を駆使し、畑に落ち葉の山を築き、ジャンプして落ち葉の感触を楽しんだ後は、畑の肥料に利用してもらうことで自然のリサイクルの仕組みを学びます。

さらにスズメバチに出会った時などを通じ、「蚊や毒蛾」等の一部を除いて、人間から危害を加えなければ森の生物には決して襲われないことなども学び、オタマジャクシや昆虫など、初めて触れ合う体験から、今まで抱いていた漠然とした恐怖心や嫌悪感から遊びを通して親しみを感じてもらい、生きものを観察した後は自然に返し、無駄に植物を取ったり折ったりせず自然に優しい気持ちを育ててもらいます。

また、雨の日にはごろすけ館内で「落ち葉でお絵かき」「はっぱのこすりだし」や森から素材を拾って「モバイル作り」等、雨に濡れない遊びを楽しみます。

解散前には「自然と遊ぼう大賞」…あなたは しぜんとあそぼう に さんか し みごとに あそびめいじんに なったので ひょうしょうじょう を さしあげます これからも しぜんだいすきにんげん としてあそびに きてください…その他テーマ別の表彰状を準備し、参加者全員に差し上げます。

ごろすけ館内の一角にはスタッフの撮影した季節の写真や、活動中のスナップ、参加者の作品などを展示し、友の会HPのBLOG「森のでできごと」に折々「\*月の自然と遊ぼう」をアップし、結果と次回の予告を載せています。また、新聞5大紙やタウン紙、日本自然保護協会会報の広報欄に寄稿し参加者増加の促進を働きかけています。

以上が現在の活動状況ですが、最後にお問い合わせがございませぬ。

先にスタッフが4名～5名と申しましたが、PJ設立(1996～97年)以来の4名は、いずれも歳を重ね老齢化が進んでおります。いつまで続けられるか先行きが危惧されます。

新しい方の参加を切望しております。

スキルに格別の制限はありません。自然と遊ぶことに興味をお持ちの方、一度遊びにおいて下さいませぬか。

一同、首を長くしてお待ちしております。

自然と遊ぼう 村松

**【報告】第3回 保安全管理フォローアップの会 (9/7 (土) 13~15時)**

○参加者：友の会7名(落合道夫さん、片岡章さん、岸本道明さん、佐々木美雪さん、篠原由紀子さん、関根和彦さん、渡部克哉さん)、みどりアップ推進課1名(清水恭子係長)、レンジャー2名(掛下尚一郎、中沢一将)

○内容：ピクニック広場の工事が終わり3年が経ちました。その間、友の会の皆さんの調査などによって植物、昆虫、鳥、哺乳類などさまざまな生きものが広場で確認されました。今回は、ピクニック広場で確認されている生きもので、保安全管理計画に記載された保全対象種の分布を、図面とフィールドワークで共有しました。新たに保全対象種が見つかったり、神奈川県レッドデータブックで要注意種とされているショウリョウバッタモドキの生息も確認できました。終わりに、広場の課題や提案などを出し合いました。「人の目線からは短く刈るところと刈り残すところのメリハリをつけて人が奥まで入っていける状況にしてほしい」「秋の七草が見られる安定した草地、そこへ新たな生き物が来てほしい」「5~6年の遷移ゾーンを作ってみる。(野焼きの代わりにするようになるような)」「ピクニック広場の名称が適当なのか」など、出していただいた意見を参考に、来年以降の広場の管理をさらに検討していきたいと考えています。



**【お知らせ】保安全管理フォローアップの会 今後の予定**

★次回 11/9 (土) 13~15時

○内容：桜林の保全と活用に関する検討 集合：研修室

2013年度に作成された桜林の保安全管理実施計画をもとに、課題の共有や今後の管理方針について意見交換を予定しています。

持ち物：動きやすい服装、帽子、飲み物

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下 (kakesita@wbsj.org) か、中沢 (nakazawa-k@wbsj.org) までご連絡ください。

**【予告】企画展「とりのくちばしと食べもの展 (仮題)」**

11月より下期の企画展が始まります。今回は鳥のくちばしの形に注目！ピンセットのような形、ペンチのような形、鋭く曲がった形…。どれもその鳥の食べものに関係しているようです。

だれの食事風景だろう…?と気になる「くちばしクイズ」も用意しています。これから野鳥観察の楽しい季節、展示をヒントに鳥の「食べる」場面を探しに、森へ出かけて見ませんか。

## 【お知らせ】台風15号の影響

9月8日から9日に通過した台風15号は自然観察の森と周辺の森に例年にない被害をもたらしました。幸い停電はなく自然観察センターの機能は保つことができましたが、倒木や折れ枝等の被害箇所は園内だけで80以上に及びました。モンキチョウの広場のミズキの木や、樹木ウォッチングマップ3番のハコネウツギなど、観察対象として特に活用していた木も残念ながら倒れてしまいました。また、倒木等によりミズキの道・タンポポの道・コナラの道の一部は通行止めとなり、利用面の支障も目立ちました。園外でも港南台・鎌倉方面などのハイキングコースの大部分が利用不可になり、台風通過後の週末は、自然観察センターでハイキングのコース変更を検討する、来館者の姿が多く見られました。10月1日現在、園内は舗装道路を中心に被害木の処理が進み、タンポポの道・ミズキの道の通行止めは解除されました。園外については、ビートルズトレイルのコナラの道11番～いっしんどう広場までのコースなどが解除されました。全域の復旧までは時間がかかる可能性があります。最新情報をお調べの上ご利用ください。



## 【報告】日本鳥学会2019年度大会

9/13～16まで、帝京科学大学千住キャンパスで行われた日本鳥学会にレンジャーの奴賀が参加してきました。都内開催ということもあり、プロ、アマ問わず、900人以上の参加があったそうです。口頭発表、ポスター発表、自由集会、公開シンポジウム、懇親会、エクスカージョン、鳥に関するグッズの物販と、発表以外にも盛りだくさんでした。観察の森でも注目されている外来種ガビチョウのポスター発表を見てきたので、簡単にご紹介します。タイトルは「分散障壁と生息地に着目した特定外来種ガビチョウの分布拡大パターン解析」。解析結果から、市街地が分布拡大の障壁になり、都市部を迂回して分布拡大した可能性が高いこと、積雪が定着できるかどうかに関係していることなどが明らかになったということでした。来年の学会は北海道網走市なのですが、再来年はまた関東近郊になる可能性があるため、その時はまた参加しやすいのではないかと思います。

ホランティアさん \*\* 8/1～9/30 \*\* ありがとう

8/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供

8/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

8/10、8/17 石川裕一さん 今村修さん 岸本道明さん 佐々木美雪さん  
佐々木惺也さん 水上重人さん

クツワムシ調査へのご協力

8/15 今村修さん センター主催行事「子どもアドベンチャー」へのご協力

8/18 ハンミョウの会のみなさま 研修生の受け入れへのご協力

8/24 カワセミファンクラブ 大浦晴壽さん ハチ情報のご提供 サイン掲示に関するご協力

9/7 鳥のくらし発見隊のみなさま 研修生の受け入れへのご協力

8/11、9/7 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供

9/11、9/15、9/18

雑木林ファンクラブのみなさま 台風15号による倒木、枝折れの処理へのご協力

9/28、9/29 上原明子さん 中里幹久さん 石川裕一さん

センター主催行事「生きものであう森さんぽ」へのご協力



横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

★車でのご来園は9月1日より可能となりました。

行先：大久保番苗

# 行事スケジュール 10~12月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●

### ●写真展

「横浜自然観察の森の猛禽類」

9/29(日)~11/30(土)

担当：カワセミファンクラブ

「森の生きものたち」

10/13(日)~11/8(金)

担当：定点カメラで動物調査

### ●望年会

12/22(日) 9:00~

対象：友の会会員とその家族

会場：ごろすけ館前

## ●共催 定例行事●

### ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

~友の会活動内容紹介とルールを~

12/15(日) 9:30~14:00 雨天催行

受付：直接、自然観察センター研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

\*会員の方は、是非一度はご参加ください。

## ●自然観察センター主催行事●

### ■幼児向け 生きものとしてあう森さんぽ

開催日：12月7日(土)

時間：①10時~12時 ②13時~15時

(各回同一内容)

対象：3~6歳の未就学児と保護者

各回40名(抽選)

申込：下記参照

締切：11/25(月)

<申込方法>

下記を明記の上、自然観察センターへ、メール・FAXで申込。

①行事名と希望回

②参加者全員の名前・ふりがな・性別(子どもは年齢)

③電話番号

④FAX番号

⑤情報源「ゴロ報を見て」

<申込先>

FAX：045-894-8892

Eメール：yokohama-nc@wbsj.org

発行日 2019年10月16日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com

## ●友の会 定例行事●

### ●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

~季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら~

11/3(日)・12/1(日)

1回目 11:00~ 2回目 13:00~

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

~のんびり楽しむバードウォッチング~

11/10(日)・12/8(日)

9:00~13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

### ●森の絵本を楽しもう

~簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ~

11/20(水)・12/18(水)

10:30~12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●定点カメラで動物調査

11/9(土)

9:30~12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参

集合：ごろすけ館集合

5月~11月の毎月第2土曜日

### ●畑と作物をつくろう

~生き物にあふれた畑を目指して~

11/16(土)・12/21(土)

10:00~12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜日

### ●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

~ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい~

10/26(土)・11/23(土)・12/14(土)

13:30~14:30

(※2019年度も1日1回の開催になります。)

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜